

維新の会

生物多様性の保全・生物多様性「大阪府戦略」アンケート調査について

質問 1 生物多様性の保全に関する大阪府での政党政策・選挙公約・マニフェストが、ありますか、ありませんか？

(1) a ある b ない

(2) ある場合、その内容をお書きください。

(3) a bにかかわらず、御党会派の生物多様性保全についてのお考えをお書きください。

生物多様性の保全は、地球温暖化対策とともに、車の両輪として取り組んでいくべき大変重要な課題であると認識している。都市化の進んだ大阪においては、府域に残る貴重な自然環境や生き物に焦点を当て、生物多様性の保全の重要性について、府民の理解を向上させていくことが肝要である。

質問 2 生物多様性基本法は地方自治体に「生物多様性地域戦略」を策定する努力義務を規定しています。大阪府は、「大阪 21 世紀の新環境総合計画」のⅡ-3「全てのいのちが共生する社会の構築」を大阪府の地域戦略として環境省に届け出て（昨年 10 月）受理されていますが、「大阪府戦略」とは称していません。府内市町村の地域戦略（3 市のみ策定）は大阪府の戦略と連携が重要になりますが、「大阪府戦略」が策定されたことを知らないケースもあります。大阪府の戦略の名称や内容について、以下のうちどのようにお考えですか？

①十分である。

②どちらかと言うと十分である。

③どちらかと言うと不十分である。

④不十分である。

質問 3 上記のご回答とも関連し、大阪府は地域戦略でどのような施策を重点的に進めるべきとお考えですか？

大阪府においては、2025年の将来の姿を現した「将来ビジョン・大阪」に示された「水とみどり豊かな新エネルギー都市」実現に向け、「大阪 21 世紀の新環境総合計画」を策定し、大阪府の環境を取り巻く様々な課題ごとに目標を定め、施策を展開している。

そのうち「地域戦略」の位置づけである「全てのいのちが共生する社会の構築」において、2020年を目標に「生物多様性の府民認知度を70%」、「生物多様性の損失を止める行動を拡大する」と定めており、当面は当該目標達成に向け、生物多様性についての府民理解を促進し、生物の生息環境の保全と回復の行動を促進するべきである。

質問 4 大阪府が地域戦略に沿って施策を立案し進めるにあたって、市民参画や市民の意見反映の在り方や手立てについてはどのようにお考えですか？

府内の動物園や水族館、植物館を初めとした生き物に関する施設のほか、自然環境に関する博物館や体験学習施設、さらには府民の森などのフィールド等の多くの施設が連携して府民に啓発キャンペーンを展開したりするなど、府内各地でPRしていくことが重要である。